



# スマイル子育て便り

釧路市児童発達支援センター 令和3年10月29日発行 No.7

スマイル子育てだよりのNo.4で「子どもの行動をよく見ることで、ほめる機会が増えていく」ということをお伝えしました。今回は、「子どもの行動をよく見る」＝「子どもの行動を具体的に表現する」ということについてお伝えします。

「行動」とは…目に見えるもの、聞こえるもの、数えられるもの、具体的に表現できるもの

☆目に見えたこと、聞こえたことを具体的に表現します。



椅子に座っている



大きい声を出している



カバンを自分で持っている



おもちゃを投げている



トイレに10秒座っている

## 〈行動はどれ？〉

「行動」を具体的に表したのものには○を、そうでないものには×を書いてみましょう。

- |                                      |                                       |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ちゃんと座ってね    | <input type="checkbox"/> 何回言ってもやめない   |
| <input type="checkbox"/> ちょうどいい声の大きさ | <input type="checkbox"/> 起きてすぐ自分で服を着た |
| <input type="checkbox"/> 「おはよう」と挨拶する | <input type="checkbox"/> 自分で靴に足を入れる   |

☆ちゃんと、ちょうど、何回という表現は曖昧なので(×)それ以外が(○)です。

## 〈ほめるチャンスを見つけよう！〉

お子さんが着替えている様子を、一つひとつの行動に分けて書いてみましょう。どこでほめられるでしょうか。

→ → → →

☆「着替える」という行動には、例えばパジャマのズボンを脱ぐ、服を着る、ズボンをはく、くつ下をはくなどの行動があります。すべて着替え終わるのを待つと、ほめるチャンスを逃すこととなります。行動を細かく具体的に見られるようになると「ズボンをはいたね」「靴下をはいたね」など、ひとつできただけで上手にほめることができます。

☆ほめることが難しいと思ったときは、子どもの行動をよく見てみましょう。  
子どもの「行動を具体的に表す」ことで、細かい行動に注目でき、ほめやすくなります。

☆質問や相談がありましたら、気軽に児童発達支援センター職員に声をかけてください。

地域支援相談担当	44-3555
野のはな園	44-1022